

# 復興庁 第5回「浜通り復興リビングラボ」シンポジウム

- リビングラボ実証事業の成果を共有し、今後の持続的な発展に向けた議論を行うため、シンポジウムを開催（約130名参加）。
- 終了を迎える民間企業7社・6市町村による6つの実証事業について成果報告するとともに、ポスターセッションにて各案件の進捗状況を確認した。

○日時：令和8年2月18日（水） 14:00～16:40（13:00～ポスターセッション） ○会場：CREVA おおくま CREVA HALL ※オンライン併用

○参加者：約130名（現地89名、オンライン37名）

福島浜通り地域等13市町村：いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町

民間企業：22社

パートナー：福島国際研究教育機構（F-REI）、福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島相双復興推進機構、経済産業省、環境省、独立行政法人都市再生機構、東日本高速道路株式会社

学術連携パートナー：福島大学、東北大学、東京大学 / その他（一般、メディア） / 復興庁（主催者）

## ○実証事業の成果報告

<全体概要> 復興庁よりコンセプト、令和7年度の実施状況、課題等を説明。

<実証事業の成果報告>

今年度終了を迎える6つの実証事業について、民間企業7社・6市町村から成果報告があり、東京大学・飯田特任准教授、福島大学・藤室特任准教授が講評。

### ① (株)フェイガー×広野町、浪江町

カーボンクレジットを活用した脱炭素型・高収益稲作体系の検証と普及

### ② 大日本印刷(株)×相馬市、浪江町

ドローンによる撮影やデータ分析等を活用した獣害対策の支援

### ③ 大日本印刷(株)×南相馬市

服薬サービス事業（ドローンによる調剤配達・遠隔地での服薬管理サポート）

### ④ (株)Agnavi×いわき市、川内村、浪江町

日本酒一合缶による地域食品の発信

### ⑤ (株)NTTデータ経営研究所×いわき市

自治体職員のまちづくりマネジメント向上のための研修プログラム開発

### ⑥ 首都高速道路(株)、首都高技術(株)、セーファー(株)×いわき市

道路パトロールシステムを活用したインフラ管理支援



成果報告の様子



講評の様子

## ○セッション「つながりを力に リビングラボによる共創の広がり」

・大熊町・吉田町長、東北大学・御手洗教授、フジタ・根岸部長、福島イノベーション・コースト構想推進機構・植木事務局長、F-REI・山崎理事長に登壇いただき、リビングラボに参画する主体の拡大や連携強化に向けて議論。

・大熊町・吉田町長：若い世代の力を借りながら多様で活気のある町にしていきたい。災害をきっかけに生まれた技術や新しいビジネスが地域を支える力となることを期待。

・東北大学・御手洗教授：企業と自治体の連携に、学術機関が入ることで復興がさらに広がっていく。この3者をつなげ、その先の地域住民もつなぐ接着剤として若い力に期待。

・フジタ・根岸部長：地域の状況に応じた一品ものの事業は地元の協力・支援がなければ成立しない。さらに、地元が地元自らの活動として実施できる内容を作り上げることが大事。

・イノベ機構・植木事務局長：地域課題を解決する事業の実施には地元を分かっているパートナーが不可欠。地域に密着して研究等を行うF-REIや大学と連携した取り組みへの支援も推進。

・F-REI・山崎理事長：「浜通りに住みたい」と言われるような未来のゴールを描き、共有する。そして今年は何をする、5年後はどうすると一歩ずつ進めていくことで目標を達成できる。

・モデレーター（東京大学・近藤准教授）：各主体が協調しすぎず、それぞれの発展を目指し、共通の目標に向けて互いを刺激していくことが「共創」である。日頃は緩く繋がり、シンポジウム等の場で復興という大きな共通目標を確認しながら各主体と共に「共創」を広げてほしい。



登壇者の集合写真



セッションの様子

## ○ポスターセッション

上記の成果報告に加えて、「(株)マスヒロ」、「コドモエナジー(株)」、「(株)フジタ・(株)ふたば」、「ローテックメディカルジャパン(株)」の中間報告をポスターセッションとして実施。



ポスターセッションの様子